

平成20年3月6日付け津市監査委員告示第4号公表分

建設部

市営住宅課（白山総合支所産業建設課（当時））

監査の結果	管内の住宅新築資金等貸付件数は729件あるが、このうち滞納件数が177件で、滞納額は本市における同資金等貸付額の滞納額全体の約42パーセントと多いことから、法的措置も含め、徴収率が向上するよう適切な方策を講じられたい。
措置の内容	平成27年度においては、滞納整理に関する基本方針を定め、連帯保証人に対する履行請求や、法的措置を含めた毅然とした対応を徹底するなど積極的に滞納整理に取り組んだ結果、平成28年3月末日現在の住宅新築資金等元利償還金収入の徴収実績は、約9,749万円（前年度：約6,661万円）を回収し、徴収率は11.3パーセントとなり、前年度（7.4パーセント）より向上した。中でも貸付件数が多い白山総合支所管内の徴収実績については、約5,500万円（前年度：約2,771万円）を回収し、徴収率は14.9パーセントとなり、前年度（7.3パーセント）より向上した。